

芝浦工業大学柏高校 2024年度入試出題傾向

【注意点】

- ・前期入試期間に1回・2回入試のみを実施。GL(ジェネラルラーニングクラス)は3教科(国数英)で判定。GS(グローバル・サイエンスクラス)は原則5教科(国数英理社)で判定。ただし3教科でも上位はGS判定します。
- ・試験は国・数・英・理・社ともに、試験時間は50分で解答はマークシート方式。
- ・平均点は、国英数は60%強程度、理社は70%台を想定して問題を作成しています。また、出題範囲は原則として千葉県の公立高校の入試に準拠します。
- ・3教科(国数英)に関しては、思考力を問う問題を出題しています。(下記参照)

【高校入試における本校の思考力の捉え方】

各教科特有の見方・考え方を通して、複雑な課題を適切に解釈し、基礎的・基本的な知識及び技能を活用することで、課題に対して粘り強く向き合い、解決するための思考力や判断力を重視する。

国語:文章の展開を的確に捉え、批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について読み取る力。

数学:基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力。

英語:語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら論理的に解釈する力。

- ・出願時に英検2級以上取得申告者は、英語の試験は必ず受験しますが、優遇措置を受けられます。
- ・当日の試験に加え調査書の評定を一定の割合加算し、合否判定を行います。

【国語】(50分100点)

- 1 論説文 2 小説(随想) 3 古文

論説文・小説は段落・場面ごとに内容を整理しながら読み、根拠を必ず本文中に求めるようにしてください。古文については、主語(動作主)を意識しながら読むことをこころがけておくといでしょう。

【数学】(50分100点)

- 1 小問集合 2 二次関数 3 場合の数と確率・データの活用 4 平面図形 5 空間図形
幅広い分野から出題をしています。

※大問3は場合の数と確率分野、データの活用分野の両方から出題します。

全体として計算はやや難しめです。計算力が大切であると考えて出題をしています。作図や証明問題は出題していません。解答が0から9までの数字をマークする形式であるため、他教科に比べ、マークの数が多くなります。マークミスにはくれぐれも注意してください。過去問などでの対策が有効です。

【英語】(50分100点: リスニング約15分を含む)

- 1 リスニング問題 1 2 リスニング問題 2 3 リスニング問題 3
4 長文総合問題 1 5 長文総合問題 2 6 長文総合問題 3

リスニング問題では ①短い会話を聞き、その情報から正しい写真を選ぶか ②短い文や会話を聞き特定の情報を聞き取ることができるか ③長めの文や会話を聞き特定の情報を聞き取ることができるかを問う問題を出題します。

長文総合問題は文章量が多いので、過去問題を参考にしながら速く正確に内容を読み取る練習をしましょう。語句整序問題の出題はやめ、文章の内容を問う問題を中心にします。学習指導要領に配慮していますが、過去に本校の入試で用いた単語や熟語は出題しています。

【理科】(50分100点)

学習指導要領内で解ける問題を作成します。県立の問題とほぼ同じ難易度で物理、化学、生物、地学の4分野からバランスよく出題します。知識問題のみならず、実験に関する問題、計算問題なども出題しますので、それらの対策もしっかり行っておいください。

- 1 生物 2 地学 3 化学 4 物理
5 生物 6 地学 7 化学 8 物理

【社会】(50分100点)

学習指導要領内で解ける問題、千葉県の公立高校入試問題とほぼ同じ構成で、地理、歴史、公民の3分野からバランスよく出題します。なお、総合問題はありません。マーク式の選択問題なので、語句選択もありますが、文章の正誤や理解を問う問題が中心となります。日々の学習から、内容の正しい把握・理解につとめてください。また、統計や地形図、図、表、写真などの資料を活用する問題もあります。教科書や副教材などの資料なども確認し、より深い理解を心掛けてください。

- 1 日本地理 2 世界地理 3 前近代史 4 近現代史 567 公民